

令和6年度「大阪IR（統合型リゾート）説明会」（第3回）

質疑応答要旨

■日時：令和7年1月27日(月)18:30～20:20

■場所：枚方ビオルネ5階 ビーゴ枚方本店 イベントルーム

関連質疑のみ抜き書き

（質問者2）

2022年の説明会、4回参加させてもらって、その後の質問のところ、2回出させてもらって、同じ質問ばかりしてるんですが、答えていただけてないんです。そこについて、もう1回、ここで質問させていただきます。中身としては、日本人の、ここでは直接出てませんけども、カジノへの入場者数で、1066万人を想定されていると思います。その中身を考えたときに、ここでは入場制限してると言われてますけども、もし、年に50回、100回、そういうふうに通う。客観的に見たら、依存症としか思えないような人を10数万人の規模で想定してる。MGMが、ずっと積み上げて、そういう依存症を想定した、これは数字であるんじゃないかと思ってですね。それで、この1066万人のうちの日帰り客、依存症になりやすいのは日帰り客、日帰り客がどれだけ、その人たちは、年間平均して、何回そこに行くことになってるんですか。これを質問したんですけども、その時点では、これは企業経営に関わることで答えられませんかというふうに言われました。今回やってるのは双方向の対話、要するに、地域住民の理解を深めるために、そういう場が必要ということで、認定のときに国からも言われたりして、それでやってると思います。そういう疑念が非常にあるので。だから当然、今のこの場では、その数字を言ってもらえるんじゃないかと思ってるんですが、もし言ってもらえないとしたら、少なくとも担当者の方は、その辺のことは、全部ご存知なのかどうか、ここだけは知りたいんです。そのための前提として、ここの数字について、私が言ってる前提が正しいのかどうか、それも含めて答えていただきたいと思うんですが、資料1の15ページの納付金で、入場料320億円、これは日本人だけで、日本人1人が入場して6000円ですけれども、そのうちの3000円が府市に入るということで、ここから想定したら、日本人の年間入場者数は1066万人になる、ここはそうだと思うんです。

その後の740億円は納付金で、利益のうちの入ってくるのが15%というふうに思ってるので、これで計算すると4900億円になります。ところが資料1の6ページのゲーミングの収益は、4200億円となっているので、700億円の差があって、これは、だから集客のために使えるお金、例えば賭け金に応じてポイントつけて、いろいろ宿泊施設を安くするとか、いろいろお土産安くするとか、あるいはチップとして6000円払って入場するけども、6000円分のチップを渡すと、そういう形でも使うこともできる。要するに700億円ですから、そういうふうな、いろんな形で集客のために使うやつで使われているんじゃないかと、そういうふうに私としては認識をしております。そういう状況の中で、さっきの日本人は1066万人も、要するに10数万人も年間50回、100回からですね、他の人が1回、2回の人が行っていても、この数字になる、これぐらいしか考えられないと思ってですね、今の2つだけの数字、要するに1066万人のうちのどれだけが日帰り客なのか。そして、その日帰り客は年間平均して何回カジノに行くことになってるのか、この2つの数字をここで教えてほしい。

これが教えられないということだったら、皆さんは、それについてはちゃんとご存知なのか。ご存知だけど、企業利益に関わるからこういう場では言えないのか、その辺のことだけお願いします。

(回答)

今、ご指摘いただきましたカジノ来訪者の、主に日本人の来訪者のご指摘かと思えます。

まず、前段でご指摘をいただいておりますとおり、納付金 740 億円の年間の収入の想定についてですが、**前段で法律上、カジノ行為の粗収益から 30%、地方に 15%ということになりますので、その算定のもととなる数字としては約 4,900 億円になります。一方で、資料 1 の 5 ページに記載をしております年間売上のゲーミング 4,200 億円については、その粗収益から、いわゆるコンプ、先ほどおっしゃったようなものを引いたものが収益として 4,200 億円とお示しをしているところでございます。**

次に、来訪者についてでございますけれども、以前もご質問いただいているかもしれませんが、この来訪者については、国内の人口でありますとか、訪日外国人の数、そういった推移を元に、既存の海外等の I R施設等の実績も踏まえて、事業者において試算をしているということになります。具体的には、国内の日帰り客と、国内の宿泊客、外国人の旅行者という 3 つに大きく分けておりまして、国内の日帰り客については、来訪地域をだいたい 3 時間で来られる範囲ということで定めまして、その中で、カジノへの年間来訪者数を想定して、推計しているということになります。

宿泊客なり、外国人旅行者については、そういったデータをもとに推計しているということになります。

約 1,070 万人のうちの日帰り客の延べ人数なり、1 人当たり平均、何回来るのかということについては、これについては、当然、私ども提案なり、区域整備計画の審査の過程で、具体的内容は把握をしておりますけれども、その内訳や計算方法については、事業者の非常に重要なノウハウに係る部分になりますので、お示しをすることができないということになります。